

第5学年 国語科 「伝記を読んで自分の生き方を考えよう」 (全10時間)
「手塚治虫」(東京書籍・5年)

指導のねらい

- ・複数の伝記を選び比べて読むことを通し、描かれた人物の行動や生き方から、読み手である自分に強く伝わってきたことを明確にし、自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、感銘を受けたり、あこがれを抱いたりして、自分の生き方を見つめ直し、考えをまとめる。

単元の実際

伝記を読んで「偉人の生き方カード」を作り、自分の生き方を考えよう

第1次 学習のねらいを知り、見通しをもつ。

① 単元の学習に対する自分の課題をつかみ、見通しをもつ。

- ◇指導者が作成した「偉人の生き方カード」を読み、これからの学習の課題とその解決の見通しをもつ。
- ・昨年の二分の一人式で発表した自分の夢を想起させ、その夢の実現のヒントとなるものの一つとして「伝記」があることを伝える。
- ・自分が選んだ伝記から夢の実現のための生き方を学ぶという課題意識をもたせる。
- ・指導者が自作の「偉人の生き方カード」を用いて自分の取り入れたい生き方を紹介し、これからの学習課題とその解決の見通しをもたせる。

第2次 教材文「手塚治虫」を読み、自分の生き方を見つめ直し、考えをまとめる。

②③④⑤ 手塚治虫の生き方を読み取る。

- ◇教材文を読み、各章ごとに治虫の行動や言葉、考えたことからものの見方や考え方、生き方を読み取り、取り入れたいと思う生き方を「〇〇な人、手塚治虫」として書く。
- ・治虫の言葉や行動、考えたことから治虫のものの見方や考え方を読み取らせ、自分が取り入れたいと思う生き方や考え方が表れている言葉や行動を選び、ノートに書きためさせていく。
- ・友達と、選んだ言葉や行動から読み取った生き方及び理由について交流することで、自分の考えを確かなものにさせる。

⑥⑦ 手塚治虫の「偉人の生き方カード」を作り、これからの生き方について発表し合い、交流する。

- ◇最も取り入れたいと思う生き方を表している治虫の言葉や行動を選び、それについての詳しい説明と、これからの自分の生き方に対する考えを「偉人の生き方カード」に書く。
- ・治虫の生き方と自分の経験や考えなどと比べて、これからの自分の生き方を書かせる。

第3次 選んだ伝記を読み、自分の生き方を見つめ直し、考えをまとめる。

⑧⑨ 伝記を読み、「偉人の生き方カード」を作る。

2 ページ参照

- ◇伝記を選び、人物のものの見方や考え方、生き方が表れている言葉や行動から、自分に取り入れたい生き方が表れているものをノートに書きため、生き方を考える。
- ・それぞれが並行読書してきた伝記から取り入れたい生き方をした人物を一人選ばせる。
- ◇人物の生き方と自分の経験や考えなどと比べて、これからの自分の生き方に対する考えを書く。
- ・自分の夢と現状、課題を明確にし、人物のものの見方や考え方、生き方がこれからの自分の生き方にどう参考になったかを書かせる。

⑩ これからの自分の生き方について発表し合い、単元の学習を振り返る。

- ◇「偉人の生き方カード」を基に、これから自分の夢の実現に向けてどう生きていくかを発表し、単元の学習を振り返る。
- ・いろいろな人物の伝記を読むことで、自分の生き方を見つめ直すことができることに気付かせる。
- ・単元の学習を振り返らせ、この単元で身に付いた力を自己認知させる。

◇ 主体的・対話的で深い学びの過程を実現する工夫

⑨ 伝記を読み、「偉人の生き方カード」を作る。

授業の実際

☆本時の学習課題とめあてをつかむ。

◇本時の学習課題とめあてを確認する。[全体]

- ・学習課題 これからの生き方を考えよう。
- ・学習のめあて

最も取り入れたいと思う生き方とその説明を書くことができる。

人物の生き方と、自分の経験や考えなどを比べ、これからの自分の生き方を書くことができる。

☆自分の選んだ伝記を基に「偉人の生き方カード」を作る。

◇最も取り入れたいと思う人物の生き方とそれが表れている言葉や行動についての考えを交流する。[グループ]

- ・同じ人物を選んだ児童でグループを構成させる。
- ・参考にしたい意見は書き加えたり、修正したりさせる。

◇「偉人の生き方カード」に人物の生き方と、その生き方が表れている言葉や行動の説明までを書く。

- ・最も取り入れたいと思う生き方とそれが表れている言葉や行動を選ばせる。
- ・説明の書き方を示す。



説明の書き方

一文目：言葉や行動の説明（いつ・どこで・どんなときに・誰に対して）

二文目：その言葉や行動から考えたこと

◇人物の生き方からこれからの自分の生き方を考えカードにまとめる。

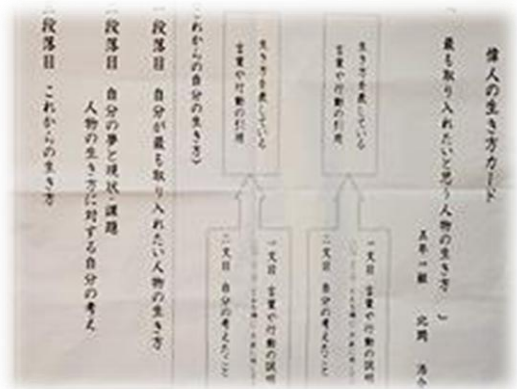
- ・書き方を示す。

- 一段落目：最も取り入れたい人物の生き方
- 二段落目：自分の夢と現状、課題
人物の生き方に対する自分の考え
- 三段落目：これからの生き方

- ・自分の夢と現状、課題を明確にし、人物の生き方と自分の経験や考えなどと比べて、人物のものの見方や考え方、生き方がこれからの自分の生き方にどう参考になったかを書かせる。

◇短くまとめた人物の生き方と、これからの自分の生き方を発表する。[全体]

- ・それぞれの課題によって選んだ生き方が違うことに気付かせる。



「自分の意志をつらぬく、前向きな人、ガリレオ」
 ぼくは、自分の意志をつらぬく、前向きな生き方をしていきたいと思う。
 ぼくの夢は、プロサッカー選手になって、ペイルの四十億という年俵を越すことだ。現在ぼくは、高知県トレンセンでは、存在感を發揮できずにいる。しかも、努力もできていないし、負けるとすぐ落ち込む。つまり、ぼくの課題は、すぐ下を向かず、前向きになることだ。そんな時、ガリレオ・ガリレイの伝記を読み、前向きな姿に強く感動した。これからは、自分の夢を実現させるために、試合で大差で負けても、落ち込まず、前を向いて歩いていこうと思った。



☆本時の学習を振り返る。

◇今日の学習の振り返りをノートに書く。

- ・人物の生き方と自分の経験や考えなどを比べ、これからの自分の生き方を考えることができたかを書かせる。